

いのち 生命の力が輝く時 ~その6~

※プライバシー保護のため、
事実と少し変えています。

やりたいことがあるから変わろうとする子どもがいる。
どうにかしたいから、今できることから始める子どもがいる。
一方で、ひたすら眠り続けて壊れそうな自分を守る子どもがいる。
今の自分を認める子どもは、必ず生命の力を発揮する…。

教師の

「何もしないことをする」と無関心

■家庭訪問をする時

クラスに不登校の子どもがいると、多くの教師が家庭訪問をします。しかし、子どもが会ってくれるとは限りません。子どもの家が近くなると、心が不安で重くなります。玄関の前に立ち、軽く深呼吸…。ドアを開け「こんにちは。」と少し明るく挨拶します。「はい。」というお母さんの声。「〇さんはどうしてですか？」と尋ねると、「先生、いつもすみません。ちょっと部屋から出てきません。」とすまなそうな表情を見せるお母さん。「いえいえ、気にしないで下さい。」と、お家の方と玄関先で少し立ち話をします。

「子どもは、今どういう気持ちでいるのだろう？」と、その子に思いをはせながら話をします。

場合によっては、その家庭訪問さえしてはならない時があります。教師が家庭訪問

をすることで、子どもが心理的に追い詰められていく場合があるからです。大きな音を立てて不安を表したり、部屋に閉じこもって鍵をかけたり、トイレに入って出てこなかったり…。

■なにもしないことをする

そんな時は、「何もしないことをする」対応が求められます。

しかし、不登校を「解決？」するために、「早期発見・早期対応」が大切だと言われている時に、「何もしない」を貫くのはなかなか大変です。

日常的に指導をしている教師は、何もしないと自分自身が不安になりがちです。周りからは「怠けている」とか「無責任」というふうに見られるかも知れません。校長先生からは「先生、〇さんには今どういう対応をしていますか？」と聞かれることもあるでしょう。「ハイ、今は何もしていません。」などと答えるのは、ちょっと勇気がいらいます。

人間はあれこれ手出しをされるよりも、何もしないでいてくれることがありがたい時があります。心に安定を取り戻すためには、他者から干渉されたくない時があります。静かな時間と空間が必要な時がありま

す。

■無関心との違い

しかし、何もしない時ほど、その子どものことに關心をもつことが大切です。「何もしないことをする」のと「無関心」は、見た目はほぼ同じですが、内実は全く違います。

「何もしないことをする」のは、その子が必要とする時は子どもの立場に立って対応するけど、「無関心」は子どもの要求に対して「あなただけ特別はできない」と切り捨ててしまいがちです。

「何もしないことをする」時は、子どもの生命の力を信頼していますが、「無関心」は、子どもにあれこれ目標を決めさせて動くことを強要します。そして、頑張ろうとしないと「自分で決めたんでしょ」と、子どもを追いつめてしまいます。

「何もしないことをする」時は、「その子にとって学校とは」「その子にとって成長とは、幸せとは、生きるとは」…と、教師は自らに問いかけ続けますが、「無関心」は「学校に来なければ何も始まらない」と休み続ける子どもの支援を結果的に放棄してしまいます。

■社会的自立のための支援とは？

中学校の入学式も行かなかったマサシ君ですが、その担任は毎週金曜日に家庭訪問をし続けました。そのうちに、お母さんがいなくても話をすることができるようになりました。2年生になってからは、マサシ君が夢中になっているメダカの話聞き続けました。小学校の時は、先生を拒否して

爽風館高校で

親の会を開いています

毎月第1水曜日の19:00～20:50

最終回 2月7日(水) 例会

爽風館高校の親の会の特徴は、同じ高校の子どもの親たちが集まるので、とても焦点の絞られた話ができるということです。それは、他の親の会にはない特徴です。

1月例会は、スクールカウンセラーも参加しました。

いたマサシ君ですが、毎週来る担任と会うのを楽しみにするようになりました。

担任の先生と話をすることで、学校には行っていないけど、今の自分を受け入れることができたからだと思います。「学校には行っていないけど、今の自分でOK」という思いは、高校進学をするときに生きてきました。

中学校の卒業式には参加したマサシ君。制服を着ての登校は、3年間で初めてでした。今は高校生として、自分のペースで歩んでいます。

教師の「何もしないことをする」とは、この担任のように、「何かをしてあげる」よりも「そばにいてあげる」を優先することです。

誰のために、何のために不登校の子どもを支援するのか？それは、ほかならぬその子どもの最善の利益のためであることを忘れてはなりません。

おね

原稿をお寄せ下さい

- 感想・体験 ●伝えたい情報
 - その他不登校に関すること
- <メール> toiwase@hoshinokai.net
<FAX> 097-576-9489

がい

原稿は、FAXかメールでお寄せ下さい。掲載の際に匿名・インシヤルなど希望する場合は、そのことを書き添えて下さい。

ご寄付のお願い

活動を継続・発展させていくために寄付や切手等の寄贈をお願いしています。力をかけて下さい。尚、寄付・寄贈していただいた方は会報で紹介させていただきます。

郵便振替

<口座記号番号> 01710-8-142651
<加入者名> 不登校を考える星の会

3月の例会予定

- 昼の大分例会…3月3日(土)13:00～16:30
- 別府例会…3月3日(土)19:00～21:00
- 豊後大野例会…3月8日(木)19:00～21:00
- 津久見例会…3月9日(金)19:30～22:00
- 夜の大分例会…3月16日(金)19:00～21:30
- アンダンテ星の会…3月18日(日)10:00～12:30
- 湯布院例会…3月22日(木)19:30～21:30

会報発送のボランティアを募集しています。協力していただける方は河野さんまで連絡をください。

会報発送作業

- 2月22日(木)14:00～
- 場所は未定です
- お尋ねは河野さん (080-5272-9360) まで